

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 県道山北藤野線開通と秦野峠林道の利用は大きな課題である。更に八丁林道の先に秦野峠林道がある。災害対策を含めて林道と林道を結ぶことの要望を三保連合自治会と協議をしてきている。町は三保と大野山ルートを優先すべきではないかと言っている。 過去に、林道を結ぶことについては、地域の要望として県に上げたが費用対効果を理由に断られた経緯がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去に県に要望した経緯があるようだ。当町にとって大切なルートで、提案された状況を把握し調査する必要はある。
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 秦野峠林道をスーパー林道にして、町や県にお金が落ちる仕組みをつくったらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉シーズンなど1週間でもいいから、開放をと訴えているが、落石を理由に県は開放したからない。頂上の碑には、周辺の地主が協力したこと、集落同士を結ぶ道路との記載もあるが通行させない。今後も松田町と山北町の議員が秦野峠林道の開通に向け県に訴えていく。
道路関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 共和と寄を結ぶ花じょろ道は秦野峠林道とは関係ないのか。いわれを聞くと面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> 登山道であり、秦野峠林道とは関係ないが、古道は外国人に人気がある。花じょろ道には観光としての可能性がある。 (※) その昔、日常的に行き来をするのに利用していた生活道路であった。婚礼品を担いだ花嫁行列のちょうちんの灯りが、共和村から見えたそう。
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ICカードのまたぎは、駅員のいる駅でデータ処理をしてもらえば使用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> またぎ利用はできない。サーバーが会社ごとに違い、これを解決するには莫大な費用がかかる。
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ICカード読み取り機が設置されたが、山北駅南側には屋根がない。利用者のことを考えたら、雨除けの屋根は必要、要望してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 東山北駅も同様であるが、設置については会社の考えである。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ICカードが御殿場線で利用できるようになったことは前進である。しかし、東京方面から来た時にスムーズに利用できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山沿線を取り入れていくのも必要。金の問題だが、インバウンドを考えると実現への体制作りが必要である。今困っているのは、下曾我の梅まつり、カード処理に長蛇の列ができる
交通関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 切符は会社関係なく通しで購入できる。銀行も色々なところで利用できるのにJR東日本とJR東海ができないのはおかしい。 	<ul style="list-style-type: none">
交通関係 ・ICカード	総務環境常任 委員会	ICカード今後の展開を知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> 問題は国府津駅でのまたぎ利用である。今後も議員連盟などで、課題解消へ努力していく。
鳥獣被害	総務環境常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鹿柵を設置しても壊されてしまいやる気をなくす。お茶もやられる。イノシシに石ずみ崩される。高齢なので力が出ない。 	<ul style="list-style-type: none">
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲奨励金は、罝免許を持ってないと申請できないのか。畑のネットなどにかかってしまったものは対象にならないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 県は免許不所持者には捕獲してはいけないことになっている。
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 小田原の罝オーナー制度はおもしろい。 	<ul style="list-style-type: none"> これからは、行政や町民だけではなく、産官学の連携が必要である。
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 以前イベントで、鹿の燻製、ハンバーグ、ウインナーを提供したことがある。神奈川県が規制緩和すればやりたい人はいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 加工場所を完備しないと保健所の許可は下りない。止め刺ししてから2時間で加工しないといけない。山北は急峻な場所ばかりでそれが難しい。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
鳥獣被害	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 町が鹿柵を設置してくれたが、管理は自治会。行政で何とかしてもらわないと高齢化で管理できない状態である。 	<ul style="list-style-type: none">
鳥獣被害	総務環境常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い山づくりを実践している。克服すべき課題は多数ある。鳥獣被害を克服しなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none">
農林業関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地は、貸し出しすることで歯止めをかけられるのではないか。町が橋渡しをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地を、町が間に入って貸すことは信頼につながるので町に伝える。
農林業関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 共和に若い人が、来てくれた。長野県では、山の貸し出しをしていた。共和でもやりたい。山がお金になることを教えたい。森林組合が先頭に立ち調査し、針葉樹を切り広葉樹を植えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 共和地区で推進している広葉樹を植える山づくりは、これからは大切なことである。積極的に進めてほしい。
農林業関係 担い手	総務環境常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 都会には、山北町のような自然が豊かで山や畑がある所で活動したい若者はたくさんいる。このような若者を呼び込む取り組みをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none">
観光関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 丸山を観光の山に。松田は観光の山にしている。去年は23万人来ている其の人達を山北の丸山や洒水の滝に、広域的に観光客を回すような仕組み作りが必要である。東名から丸山が見える。山北をPRする為に活用するべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> さくらの時期には、松田町や開成町と連携をとり、当町への誘客を図っていくことは、町長に話している。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
観光関係 簡保跡地	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 簡保跡地の源泉はそのままでもったいない。源泉の販売や、山梨県の「ほったらかしの湯」の様に小規模な小屋を建て、足湯などにすれば良いのではないかと。チャレンジするべきだ。 	<ul style="list-style-type: none">
観光関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 高松山や簡保の跡地利用は、山梨県の「ほったらかし温泉」のように、人手が少なくても運営できるようなものが良い。足湯などもよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none">
人口対策関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 以前は便利な場所に住んでいた。生活しやすい環境は楽だが、人間としての力が弱くなることを感じ山に住みたいと思った。今は不便であることが楽しい。共和は、力強く、のんびりとして人が温かい素敵な所。定住協力隊として活動しており、今友人が「ほたるの家」でお試し体験をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大野山は夜になると満点の星空が見える。ユースは漆黒の闇夜が体験できる。山北は人間の五感を刺激する素晴らしいところ、宣伝してほしい。
人口対策関係	総務環境 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 川崎との交流事業がきっかけで山北への定住を決めた。山梨県や長野県も考えたが、共和はフレンドリーで人が温かくビックリした。 	<ul style="list-style-type: none">
人口対策関係 ・後継者不足	総務環境常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 共和地区では、他の地区から人が集まるための仕掛けをすることで、若い人が集まってきている。自分たちの子どもは地区外へ出てしまうが、移住者が増え後継者となれば地域づくりはできる。 	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
人口対策関係 移住者の推進	総務環境常任 委員会	・ 山梨県の北杜市には移住者がたくさん集まっている。それは、若者に仕事があるからだと思う。山北町も同じ様な環境なのでやれば移住者が増えるのではないかな。	・
その他 ふるさと納税	総務環境常任 委員会	・ ふるさと納税の返礼品は何が人気か、税収は、使い道は何か。	・ トーカツフーズ、足柄牛、すっぽん鍋、とれたて山ちゃんの農産物。他に町長にお任せ等がある。納税額は数億円あるが、ポータルサイトへの委託費や諸経費などがかかる。
その他 交流事業	総務環境常任 委員会	・ 川崎市と交流をしている。お互いにないものを求めることで、交流はさらに深まっている。	・
その他 地域活性化対策	総務環境常任 委員会	・ 大井高校の生徒が放任みかん園で収穫したみかんを東京で販売する活動をした。新たな地域活性化になるのではないかな。	・
その他 地域活性化対策	総務環境常任 委員会	・ 沖縄では宿泊しながら農業体験ができる体験型の修学旅行を受け入れることでお金を稼ぐ仕掛けと、人的交流で地域の活性化を実現した。山北町でも、企業の研修などに援農体験を受け入れることで、荒廃農地の減少につなげられるのではないかな。	・ 鹿島山北高等学校の生徒は「薫るの牧場」などで体験学習をしている。
幼児・子供関係	福祉教育常任 委員会	・ 毎年受け入れている大和市の16保育園の子どもたちは、体力、気力、生きる力がみなぎっている。園の取り組みを研究したらどうか。共和でもウラジログシ体験教室を通して子供たちを鍛えている。	・ ゲームのとりこになっている山北町の子ども達も、ここ共和の自然塾で「生きる力」を学習させて鍛えてほしい。大和市の16山保育園を視察したい。

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
高齢者関係 地域コミュニティ	福祉教育常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 地域サロンは、皆さん楽しく参加されている。体験型が良いらしい。 	<ul style="list-style-type: none">
高齢者関係	福祉教育常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①健康寿命の算出基準がないのはおかしい。作るよう議会が働きかけるべきだ。 ②議会は、経費や料金をチェックしているのか。 ③さくらの湯は健康に繋がることをPRをしているか。 ④水風呂がないので作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康寿命の基準を定めるよう働きかけているが、現状はできていない。 ②経費や料金のチェックはしている。議員選出監査の立場でもチェックをしていく。 ③町に伝える。
高齢者関係	福祉教育常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県の鳩山町へ視察に行つて取り入れられる事業はあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳩山町は健康を数値化することで、参加者のやる気を起こし、運動効果を上げていた。この点は山北もまねしたほうが良いと感じた。しかし、当町も鳩山町に負けない健康教室が実施されている。男性の参加者が少ないことが残念である。
高齢者関係 健康長寿	福祉教育常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 共和では、周りにいる高齢の人は元気で活動されている。若い人が住んでくれるのがとてもありがたい。山北町としても9割の山や畑を利用して若者を呼び込んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none">
その他 議員定数	委員会以外	<p>議長がここの参加者の中からも、立候補してくださいと言われても、選挙に出る人は、特別な人だ。1万人の中の14人だ。一般の人は真剣になれない。</p>	<ul style="list-style-type: none">

平成31年2月実施 議会報告会・意見交換会まとめ

日時:平成31年2月12日
場所:共和地区

項目	所管委員会等	参加者意見	当日の答弁
その他 議員定数		・ 役員になることに消極的で、何の役も成り手不足である。社会とつながっていることで、元気な高齢者になれる。	・
その他 議員定数	委員会以外	・ 今年選挙があるのに、議員はチラシを配るなどの活動をしていないので、各議員が何を考えているのかわからない。無投票と定数はリンクしている。	
その他 議員定数	委員会以外	・ 地域の担い手がいない。いろいろやってきたが難しい。議員定数は減らさないで、いろいろな問題に取り組んでほしい。	・